

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

農家と非農家の混住地域において、協議会の取組に加え、これを補完する「まもり隊」の地道な周辺環境整備の活動により、地域住民の参加が高まり被害を激減。

あしだちょう ふくだわりいし

芦田町福田割石地区鳥獣被害対策協議会 （代表：^{くにとう}國頭 敬市）

主な取組

広島県福山市

イノシシ被害の増加を背景に、平成25年に農家をはじめ、約7割の非農家の住民が参加する協議会が発足。協議会として、被害対策に係る研修会を受講しつつ、侵入防止柵の設置以降は、年4回の定期点検や修理等を徹底。

福山市の実施隊とは別に、平成27年に地元農家を中心とした20名の「割石故郷まもり隊」が発足。イノシシ等の潜み場をなくすために、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用して、荒れた雑木林等の伐採など地区周辺の生息環境管理や、親子で柵の管理道を歩く「里山ウォーキング」を開催するなど、地域住民が積極的に参加しやすい環境が構築されたことなどにより、イノシシの被害が激減。

【地区内の農作物被害額 平成25年度：約210万円→平成28年度：0万円】